

令和 2 年度 農山漁村振興交付金（山村活性化対策） 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

令和 2 年度に実施された農山漁村振興交付金（山村活性化対策）の事業について、「農山漁村振興交付金（山村活性化対策）実施要領」（平成 30 年 3 月 28 日付け 29 農振第 2261 号農林水産省農村振興局長通知）の第 9 の 1 の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評 価 コ メ ン ト
			R1	R2	R3		
島根県	浜田市	浜田地域広葉樹活用協議会	●	●	□	A	<p>中山間地域に材積する広葉樹の活用によって山村地域の活性化を図る目的で事業に取り組みました。</p> <p>成果としては、昨年度に引き続き、山村地域の広葉樹原木を順調に調達することができ、広葉樹資材の確保や試作品の開発など 3 年目以降の販売に向けた準備ができたことは事業実績として評価できる。</p>

(注 1) 「事業実施段階」の凡例：○…交付対象年度（計画） ●…交付対象年度（実施済） □…目標年度（計画） ■…目標年度（実施済）

(注 2) 「評価の区分」：A…優良 B…良好 C…低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金（山村活性化対策）実施要領の第 9 の 1 の(1)の規定に基づき、第三者である平坂常弘から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

平坂常弘

【意見聴取の概要】

山村地域からの広葉樹原木の調達による資材の確保やアドバイザー契約による試作品開発など、3 年目以降の販売に向けた準備ができたことは事業実績として評価する。

農山漁村振興交付金（山村活性化対策）評価シート

1.事業実施主体（評価者）	浜田地域広葉樹活用協議会	事業開始年度	目標年度	事業実施期間
2.取組振興山村名	安城村	令和元年度	令和3年度	令和2年6月15日～令和3年3月31日
3.事業費（うち国費）	9,654,298円（9,400,000円）			
4.第三者氏名	平坂常弘			
5.事業評価				
総合評価				
○取組の実施状況や目標の達成に必要な取組が十分に行われたか。 （①から④までを踏まえた総合的な評価）		（評価理由及び助言等のコメント） 山村地域からの広葉樹原木の調達による資材の確保や試作品の開発など、2年目以降に向けた準備ができたことは事業実績として評価する。		
評価（該当に○）	○(A) (B) (C) 重点指導対象			
①取組状況				
○目標の達成に資するための取組が行われたか。		（評価理由及び助言等のコメント） 地元企業との連携による資材確保や試作品開発など、目標達成のために必要な取組は実施できていると評価する。		
評価（該当に○）	○(A) (B) (C) 重点指導対象			
②事業実績				
○事業実施計画の目標は達成できているか。		（評価理由及び助言等のコメント） 新型コロナウイルス感染症の影響でバイヤーの招聘や展示会等を開催することができなかったが、資材確保や試作品開発など概ね達成できていると評価する。		
評価（該当に○）	○(A) (B) (C) 重点指導対象			
③実施体制				
○事業実施主体の取組体制は十分機能したか。		（評価理由及び助言等のコメント） 地元伐採業者と連携した原木調達や企業と連携した試作品の開発など、取組体制は構築されており、事業主体として十分機能していると考え。		
評価（該当に○）	○(A) (B) (C) 重点指導対象			
④その他				